在来木造

施工会社 (株) 竹野内建設

独立行政法人 住宅金融支援機構理事長賞 【住宅リフォーム部門】

リフォーム前後の写真



























リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

【要望・動機】子供達の独立後は1階子供室は用途を失い、 2階小屋裏と共に物を放置するだけの場だった。 急な階段や 夏暑く冬寒い屋内環境の改善と合わせて、屋外とのつながり も感じることができる暮らしを求めていた。

【設計・施工の工夫点】地域環境の整備改善にも配慮した、サ スティナブルな「住まいと暮らしのリノベーション」プロジェ クト。ライフステージの変化に合わせた空間の変更と共に耐震・ 省エネ・バリアフリー性能の向上を図り、60代夫婦がいつま

でも安心して豊かに時間を刻んでゆける空間として再生した。 ①住み慣れたコミュニティで暮らし続けること、②地域産材を 使い、職人の手と技でつくること、③街並みに潤いを与える空 間を創ることを念頭に、永く住み継がれる住宅を目指した。

【感想】コンパクトにも関わらず少しも窮屈でなく暮らしやすい。 室内外のあちこちに楽しい仕掛けがある魅力的な家になった。 【住宅の価値の向上】 耐震診断による上部構造評点は 2.00 ま

で向上、UA 値は改修前 1.38 から改修後 0.75 へ向上した。

性能向上の特性

温熱性能、防犯性能、室内空気環境

特に配慮した事項 屋根重量を軽減、構造用合板面材耐力壁、あと施工アンカーボルト、柱頭 耐震性能、省エネ性能、バリアフリー性能、「柱脚金物、モルタル外装材縦桟補強工法、1階床と外壁は高性能グラスウール、屋根はネオフォ-ム使用、全ての開口部に複層ハイブリッド窓、木製玄関戸、木製格子戸、自然素材仕上げ

データ

広島県安芸郡海田町 所在地 新築竣工年 年 築後年数 年 施工期間 180 日間 103 ㎡ /総工事床面積 103 ㎡ 該当部分工事費 該当工事床面積 2000万円 /総工事費 2000万円 居住者構成 65 歳以上: 0人 / 15~64歳: 2人 / 15歳未満: 0人

リフォーム前の平面図 リフォーム後の平面図 リビング 将来はDKに Scale 5,050 5,050 Scale 1:200 リフォーム部位 : ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ ■エクステリア/ ロマンション共用部分/ ■その他

在来木造

独立行政法人 住宅金融支援機構理事長賞 【住宅リフォーム部門】

タイトル

講評

築30年の自宅をリフォームした事例である。子供の独立後は使われていなかった空き部屋を整理し、60代の夫婦2人のためのゆとりあるスペースを実現している。また、将来的には1階で完結する暮らしに対応できるよう、1階和室にあらかじめ給排水管を設置し、ダイニングキッチンへの用途変更を可能として、現状における高齢化対応にとどまらず、さらにその先を見据えた計画としている。

急な階段や夏暑く冬寒い屋内環境の改善、屋外とのつながりを感じることができる暮らしの実現、と言った居住者の要望を叶えるとともに、専門家ならではの提案で遊び心のある計画に仕上がっている。リビング、ダイニング、和室の再配置、ロフトスペース、テラスの新設により、家の各所に居場所を増やし、夫婦2人が適度な距離感を持って生活できる空間を構成している。「コンパクトであるにもかかわらず、少しも窮屈でなく暮らしやすい。屋内外のあちこちに楽しい仕掛けがある魅力的な家になった」と、居住者の満足度も高い。

既存のモルタル壁を一部残した青系ガルバリウム鋼板の外装には、 木材がアクセントとして効果的に用いられている。既存のアルミバル コニーも、木材で挟むことで意匠性を向上させている。2階には既存 の小屋組を活かした三角の窓がデザインされ、採光と眺望の確保に寄 与している。内装には全面的に地域産木材が用いられ、造り付け家具を含めて丁寧な職人仕事によって仕上げられている。屋内外から見える位置に緑を配し、各所に設けられたテラス(「こもれびテラス」・「ゆうひテラス」・「やまなみテラス」・「つきみテラス」・「ひだまりテラス」)や窓・格子戸を通じて外部空間との連続性を効果的に確保するなど、意匠的にも優れた作品である。

住宅性能については、リフォームにより「建築当時のレベル」から「現在のレベル」に引き上げられている。耐震性能は、屋根の軽量化、構造用合板を面材とした耐力壁、あと施工アンカーボルト、柱頭柱脚金物、モルタル外装材縦桟補強工法等により、耐震診断による上部構造評点を2.00まで向上させている。断熱性能は、躯体の断熱改修に加えすべての開口部を複層ハイブリッド窓とすることで、UA値を改修前1.38から改修後0.75まで向上させている。バリアフリー性能としては、45°勾配の階段を緩勾配に付け替えている。

以上のように本作品は、「子供が独立した後の夫婦のための高齢期対応リフォーム事例」として汎用性のある典型例となるものであり、独立行政法人住宅金融支援機構理事長賞にふさわしい優れた作品である。